

用途：現在のズレ確認

違和感の正体を探る

「伝わったはず」が、「伝わっていない」に変わる瞬間。

- 相手の反応が薄い
- 意図と違う解釈が返る
- 説明後に不安が残る
- 内容は整理できているのに、会話が途中で止まる
- 伝えた感覚だけがあり、手応えが毎回曖昧

用途：原因の言語化

なぜ、入口で迷子になるのか

開始位置のズレ

- 頭の中では完結済み：自分だけがゴールに立っている
- 相手には途中から提示：前提を飛ばした「入口のない話」
- 関係性の判断が未完了：聞く準備が整っていない相手
- 前提が共有されていない：地図のない冒険を強いている

用途：誤った前提破壊

捨てるべき「思い込み」

技術や丁寧さの問題ではない

- × 言葉選びの問題ではない
- × 説明量の不足でもない
- × 丁寧さでは解決しない

結論先出しが逆効果 になる時がある
背景省略 こそが、最大の遮断要因
「分かるはず」という誤認 を捨てる
正しさは入口にならない

用途：基本構造の提示

伝えるための新・標準

入口設計が最優先

- 1 自分ごと判定を先に通す（関係性の提示から開始）
- 2 状況 → 違和感 → テーマ の順で接続
- 3 前提を明示 してから内容に入る
- 4 一文一役 でシンプルに並める
- 5 結論は後段に配置 し、納得感を作る

用途：変化の実感点

設計を変えた後の景色

- 迷いが減る（書き出しで止まらない）
- 説明の足し過ぎが消える
- 反応の質が安定する
- 意図ズレの回数が減る
- 会話の途中離脱が減少
- 判断される前に入る

用途：最小アクション

今すぐできる3ステップ

1. 削る

最初の一行を削除する。

2. 置く

「誰の何の話か」を先頭に置く。背景一行を追加する。

3. 整える

前提語を明示し、結論を最後に移動。三行で再配置する。

直近の一文を書き出すことから始める。

用途：資料の位置づけ

思考の点検カード

- ◇ 停止時の再起動用
- ◇ 毎回の入口点検カード
- ◇ 書く前に一枚確認 / 話す前に一枚確認
- ◇ ズレの再発防止用
- ◇ 反省を構造に変換する
- ◇ 再現性のための設計図

用途：次の選択肢

ここから先は、あなたのペースで

Practice

自分の文章で適用 / 過去投稿を再配置

Check

会話ログで検証 / 一週間で繰り返す

Next

必要なら深掘り資料へ / 不要ならここで止める

自分のペースで進める。